

みちしるべ

日本福音ルーテル教会
九州教区女性会

発行代表者 岩切 旻世

編集者 財津 悠子

印刷所 ヤマダスピード製版

主題聖句

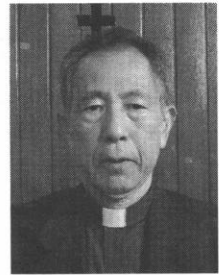
「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」 ローマの信徒への手紙 12章15節

イエスが「来なさい」と言われたので、ペテロは船から降りて水の上を歩き、イエスの方へ進んだ。マタイ一四・二九〜三三

ペテロは水の上を歩きます。この時、彼は湖上のイエス様に向かい、必死になり、一歩一歩と歩みを進めた事でしょう。

然し途中で溺れそうになります。それは「強い風に気が付いて怖くなった」からです。口語訳では「風を見て怖くなった」(三十節)と記されています。

察するに、彼がイエス様から視線を逸らして、下を向いたからではないでしょうか？



ペテロの失敗

水俣・八代教会牧師

吉谷 正典

そこに見えるものは、ただ強風に逆巻く波だけで、自分を支えるものは何もありませんから、不安と恐怖に陥るのは当然です。

彼の失敗を笑えません。私たちも「来なさい」とイエス様に招かれて、信仰と云う名前の「湖上の旅」を続けている者です。

道すがら、私達もなぜかしらイエス様から目を逸らし、下を向くことがあります。

途端不安になり、自分の心を見つめると、そこで見出すものと云えば、自分の弱さや愚かさ、そして醜さだけです。自分の支えとなるもの、誇りとするものは一切見当たらないのです。

イエス様と自分があまりにも離れていることを思い知らされ、ペテロのように「絶望の湖」に沈みそうになります。

もともとイエス様と私たちの間には永遠に超えることの出来ない壁があるので、イエス様へ近づいたために自分のものは何であれ、一切役に立ちません。

だから自分を見つめないで、無心でイエス様を見つめつつ、まっすぐ前に進みましょう。よちよち歩きの幼子が、手を広げて待つ母親の元へ歩み寄るように。

その時は転んだとしても、イエス様が自ら手を差し伸べ、助けてくださるでしょう。溺れかけたペテロを、最後には御自分で水の中から引き上げられたように。





シリーズ女性会のあゆみ ～これまでとこれから～

これまでのあゆみ

「筑後地区婦人会は、毎年八月十五日頃、平和の為に日礼拝を、台同でおこなうようにします。」
一九八七年三月三十日(月) 平和を作り出す為の声明を出しています。
同年八月十六日、第一回筑後地区合同平和礼拝が、久留米教会にて行われました。これより二年位前から、原爆・核問題についての講演や映画などを通しての学びがつけられていきました。このことから平和礼拝へと集約されることになりました。その頃、四名の牧師がいて、信徒数も多く、活発な活動が成されていきました。修養会、平和礼拝、会長会(年二回)、総会など行事も多く、忙しい内にも充実して

いた事を思い出します。その後日曜日午後から、土曜日に変わり、婦人会の名称も女性会となりましたが、人々の心は変わらず、今日まで続いています。
今年も平和礼拝は当番教会である田主丸教会で開催されました。宮川牧師をはじめ、教区役員三名、地区会員十七名、男性一名の参加があり、午前十時三十分より礼拝、祈りが捧げられました。昼食は、各持参の弁当を楽しみ、十三時よりの三分メッセージではそれぞれが、戦争体験談、日頃の思い、証しなどを語り合い充実したひと時となりました。今年も筑後地区平和礼拝が喜びの内を守られました。ありがとうございます。



筑後地区平和礼拝のこれまで

田主丸教会 永田 時雨

これからのあゆみ

「これらの小さな者を一人でも軽んじないようにしなさい。」(マタイ福音書十八章十節)九月の礼拝で「教会が真に教会であるのには、小さな方、その一人の方を大切にしているか、それができているかにかかっている、といつてもよい」とメッセージを聞きました。わたしは、このイエス様のことばを重く受け止めました。いろいろな意味で「一人の小さな方」はいると思います。わたしにとっての、女性の集まりにとつての、この遣わされた「小さな方」を受け容れ、大切にしよう生き方。きつと、イエス様は願っていると思います。置かれた場所や規模、主な活動は、女性会・婦人会それぞれ特色があります。ふところの深さ、全方位に開かれた間口の広さを備えて、地域に生きるキリストの群れの一人として、歩んでいきたいと思えます。



小さな一人を

神水教会 平山 美保

拡大会長会に参加して

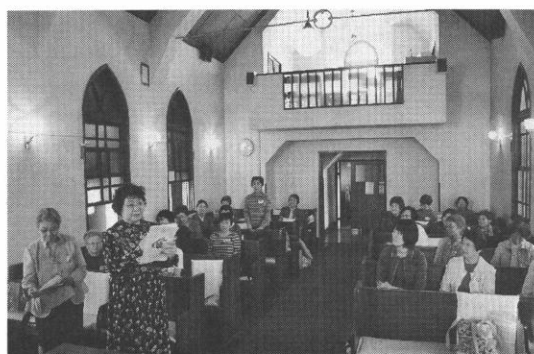
大分教会 工藤 曉美

十月十七日会長会に出席することができましたことを神様に感謝します。三年前に主人が脳梗塞で倒れました。しかも要介護5で苦しい日々を送ってまいりましたが、牧師先生から「幸いに信仰という杖が与えられていますよ」と言われ、励まされました。日々神様に支えられてやってきました。途中何度も、神様にどうしてですか？と問い続けましたが、神様の御心なんだと自分に言い聞かせて受け入れていこうと思うようになりました。

この度の会長会になんとか出席でき、新しいエネルギーをいただきました。皆様高齢になって参りましたが、神様と共に生きて来た様子、そして今も生きていることが伺えました。私よりも年上の方も教会生活を送っていらっしや

る事が感じられ、私も逆境の中でも神様が共にいて助けて下さる事を信じ、又信ずる心を与えて下さいと祈って参りたいと思います。

会長とは名ばかりの弱い私で本当に申し訳なく思っております。教会の姉妹や牧師夫人が助けてくださっています。集まっている役員さんを見見するとマリアの賛歌を思い出します。色々の協議案は神様が示して下さいと思ひ、役員さんを心から応援しています。



さまざまな意見ができました

連盟合同役員会報告

九月十八・十九日市ヶ谷センターにて連盟合同役員会が行われました。各教区小委員会から提出された報告書を基に連盟役員会が総会の審議・協議事項として作成した見解を見当するとともに、総大会への意見を聴くための会議でした。主な協議事項は次の通りです。

- (1) これからの総大会を考える
任期は従来通り三年とし、総大会は同時開催とする。但し開催場所は、東教区↓他教区↓東教区↓他教区を繰り返すこととする。
- (2) 連盟役員選出方法を考える
協議事項として提案
- (3) 次世代信仰継承の働きへの協力と支援を考える
① 次世代育成のための「いずみの会」を廃止
- (4) 経常会計の支援献金に「TNG 支援」の項目を加える
- (5) サバ神学院支援を考える
- (6) 新たなビジョンをもって継続する
- (7) 支援金は会員一人五〇〇円見当とし、その他にもバザー等の収

益からささげることを希望する。
③「サバ神学院交流委員会(仮称)」を設置することを要望する。

(5) 規約第九条の改正
連盟役員任期について、「引き続きの再任はないと追記する」

(6) 教職家族支援金から名称変更となった「特別献金」の使徒について年間限度額を設定。用途は災害緊急支援、若手女性リーダーの育成。

連盟総会への議事提案がありましたら、二〇一五年一月十一日(日)までに、教区女性会長(岩切)宛に文書にてご提出下さいますようお願いいたします。(岩切)

～連盟総大会のお知らせ～

会場: 国立オリンピック記念青少年総合センター
日時: 2015年6月2日(火)～4日(木)
大会講師: 大塚 野百合氏
キリスト教文化・讃美歌研究家
恵泉女学園大学名誉教授
著書『讃美歌・唱歌ものがたり』他